

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	社会福事業を通じて、笑顔・元気・愛の絶えない地域社会を作る。自他の成長・可能性・笑顔を追及し、豊になることを目指す。				
支援方針	集団療育：グループでの活動を通して、集団行動のルール社会性を学んでいく。集団に合わせて行動する力、他の子ども達との関わり方、感情のコントロールなど、集団生活に欠かせないソーシャルスキルやコミュニケーション能力向上を目指す。				
営業時間	12時	から	18時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支援内容					
本人支援	健康・生活	着替え・身だしなみ・トイレトレーニング等の生活に必要な基本的技能を獲得出来るよう支援し、来所時は手洗いうがいの実施・検温の記録をし健康管理を行っています。クッキングレクリエーションを通し、食への興味関心を高め、健康な体づくりと生活訓練に取り組んでいます。			
	運動・感覚	日々のレクリエーションの中で微細・粗大運動をバランスよく取り入れ運動機能の向上を支援しています。施設2階は全面運動スペースとなっており、思い切り体を動かして楽しく遊べます。運動に苦手意識がある方も、楽しく遊ぶ中で体を動かすことに対して積極的になれるようにしています。			
	認知・行動	大きなホワイトボードに1日のスケジュールを掲示し、見通しを持って主体的に行動の切り替えができるようにし、個々の特性に合わせてタイマーや感情を表すイラスト等のツールを使用し支援しています。不穏状態の際は、個室でクールダウンをしてからフィードバック等をし感情の自己調整力がつくようにしています。			
	言語 コミュニケーション	集団活動を通して、順番を守る、相手の気持ちを理解するなど他者との関わり方をサポート、お友達や職員と場面に合わせた挨拶や感謝の表現、謝るスキルが習慣付くよう支援しています。相手の言葉の行間を汲み取り、適切に応答できるようカードゲームなどで楽しく学べるようにしています。			
	人間関係 社会性	グループ活動を通して他者と協力し合う力、ルールを守る力などを育みます。また、他者との意見が異なった時や問題が起きた際の適切な自己主張の方法を知らせたり、解決方法をロールプレイも用いて子ども主体で考えられるようにしています。			
家族支援	いつでも相談できるような体制の提供(電話窓口・来所による相談) 家庭連携実施(月1程度) 支援担当者会議の実施	移行支援		入園・入学等のライフステージの切り替えに向けた準備の支援	
地域支援・地域連携	旭区スポーツフェスティバル参加・		職員の質の向上		内外部の定期的な研修への参加・
主な行事等	プール開き・遠足・節分・クリスマス会・ひなまつり・ハロウィンパーティー・誕生会・おかいもの				